



人感センサーによる 会議室やフリースペースの 利用状況可視化

会議室やフリースペースの利用状況を人感センサーを使ったシステムで可視化することで、限られた場所を効率的に運用できます。

また得られたデータを分析し、利用状況を改善することで、生産性の向上、コミュニケーションの促進が期待されます。

生産性向上につながる利用状況の可視化

「仮予約」や「キャンセル忘れ」などにより、会議室の 20～30% は実際には空いていると言われています。また、フリースペースは予約システムがないため、実際に足を運ばないと利用状況が分かりません。

そうした会議室やフリースペースの利用状況を、人感センサー（無線式）を使ったシステムで可視化することが可能となります。

現在の利用状況（空室・空席状況）を把握できるだけでなく、利用率を分析・改善することで労働時間短縮・人件費削減、つまり、生産性向上が期待できます。

人感センサーのデータで利用実態を明らかに

予約された会議室が実際に利用されているか、予約制ではないフリースペースに空席があるかは実際に行かないと把握できません。オプテックスの人感センサーは、人が在室・在席しているかどうかを的確に検出し、その情報をクラウド上で把握することができます。

<https://www.optex.co.jp/>

<https://www.optex.co.jp/solutions/office-iot.html>

テーブルの下



天井



在室検知センサー CPI
(人が動くと検知)



存在検知センサー CPD
(静止検知可能)

設置例) レストラン



4名～6名のBOX席には、CPIを1台設置しています。誰かの足が動くとCPIが検知します。

1名席、2名席にはCPDを1名につき1台設置しています。

一人で食事するときは10～15分全く動かないことも多いのでCPD(静止検知センサー)を設置しました。

CPI/CPDはテーブルの下に両面テープで貼付けるだけ。数ヶ月だけ利用して取外す際も大掛かりな撤去工事は不要です。

空席状況、滞在時間の分析～オペレーション改善によって売上・利益の向上を図る「人感センサーを使った可視化システム」の導入が広がっています。

カジュアルレストラン アンソレイラ

滋賀県大津市雄琴 5-265-1 オーパル内
tel.077-579-7112

アンソレイラとは、「日当たりが良い」という意味です。琵琶湖の湖岸にあり、店内からは、最高のロケーションが楽しめます。

設置例) オフィス内フリースペース

オプテックス(株)本社(滋賀県)では、フリースペースを各所に設けており、社員がリラックスして打合せできるスペースとして活用されています。1名席にはCPD(静止検知センサー)を、3～4名で利用するテーブルにはCPI(人が動くと検知)を設置しています。

